

ウッドバッジ研修所は、ボーイスカウト講習会を修了した加盟員を対象とし、スカウト運動の基礎を学ぶ「スカウトコース」（3泊4日・キャンプ）と、それぞれの部門の特徴を学ぶ「課程別研修」（7時間）とで構成され、スカウトコースはスカウト教育に関する基本的な内容を習得することを目的とし、課程別研修は参加者が当該部門の隊長としての責務を果たすことができるように、隊運営に関する基礎的な方法を習得することを目的としています。

また、ウッドバッジ研修所はインサービス・サポート（任務中の指導者への支援）の一環としての性質も持ち合わせていることから、近い将来当該部門の隊長となる方だけでなく、現在当該部門の指導者の方、過去に当該部門のウッドバッジ研修所を修了した方も、最新の教育と隊運営について学習するため、是非参加していただきたいものです。

まず、青森県連盟における研修所参加までの流れの一例を説明します。

団委員長への  
お願い

課題研修は、コミッショナー、トレーナー等のアドバイスにより進めていきますので、参加の意思確認後、できるだけ早くコミッショナーまたはトレーナーへご連絡ください。

意思表示



「参加を勧められた」という動機もありますが、自ら「行ってみよう」という前向きな気持ちで、団委員長へ意思表示します。

開設確認



県連盟の年間行事予定や日本連盟のHPなどで、希望する研修所の開設予定を確認します。

課題研修の確認

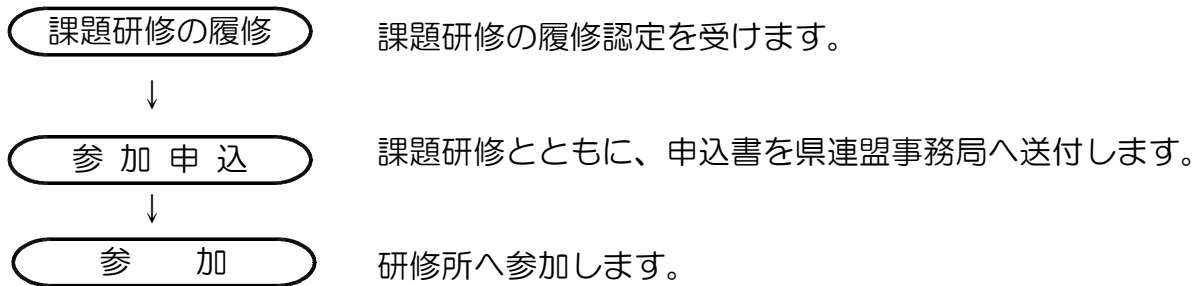


スカウトコース・課程別研修のそれぞれの「課題研修」課題を確認します。

課題研修の取組



支援者とともに課題研修に取り組みます。



次に、課題研修への取組について説明します。

ウッドバッジ研修所では、参加者がスムーズに研修を進めていくために、事前にスカウトコースおよび課程別研修のそれぞれの「課題研修」を以下により取り組んでいただきます。

- 1 課題研修への取組みにあたっては、コミッショナーから紹介された方（支援者）と共に取り組んでください。
- 2 スカウトコースの課題1と2、および課程別研修の課題1は「指導を受けた人」に支援者の氏名を記入し、スカウトコースの課題3はトレーナーから認定を受けてください。
- 3 すべての課題が終了したら、トレーナーから履修認定を受けてください。
- 4 各書類の様式は、日本連盟HPの「加盟員情報」→「ダウンロード」→「指導者訓練」のページから最新のものをダウンロードしてください。
- 5 「スカウト教育法（2019対訳版）」については、支援者にお尋ねください。

さあ、それでは始めましょう！

## 【スカウトコース「課題研修」課題】

課題1 世界スカウト機構発行資料「スカウト教育法（2019対訳版）」、「日本連盟規程集」（最新の年度版）教育規程第1章一般原則を読み、指導を受けた内容を記述してください。

課題1では、ボーイスカウト講習会で学習した、スカウト教育の基本を確認します。まず、「教育規程第1章一般原則」を読み、次のことを確認してください。

- 教育の目的と基本方針
- ビーバーからローバーまで年代に対応した一貫教育であること
- 各部門の対象年齢
- 部門ごとの「ちかい」と「やくそく」

次に、「スカウト教育法」を読み、スカウト教育法を構成する8つの要素を確認し、要素の内容と、それぞれの結びつきを確認してください。

課題1は、次のように実施してください。

① レポート用紙等に、次のことを書き写して、支援者に提出してください。

- 教育の目的と基本方針
- 日本連盟規程集の後ろにある参考資料「世界スカウト機構憲章」に書かれている定義・目的・原理
- スカウト教育法の8つの要素

② 支援者からアドバイスを受け、その内容と感想を「課題研修まとめ用紙」に記述してください。

③ ①のレポートは「課題研修まとめ用紙」に添付してください。

課題2 「スカウティング・フォア・ボーイズ」の第Ⅸ章、第Ⅲ章、第Ⅰ章、第Ⅱ章の順番に熟読し、指導を受けた内容を記述してください。

課題2では、スカウティング・フォア・ボーイズは、本運動を行ううえでは欠かせないものだということを確認します。

スカウティング・フォア・ボーイズには、B-Pが経験したこと、見聞いたこと、伝えたい思いや次世代を担う人々への願いなどが、平易な文章で挿絵とともに綴られており、工夫次第でスカウト達に楽しいプログラムを提供でき、エコプログラムのヒントにもなり

得ます。

課題2は、次のように実施してください。

- ① スカウティング・フォア・ボーイズを、第Ⅸ章→第Ⅲ章→第Ⅰ章→第Ⅱ章の順に読み、レポート用紙等にその感想を書き、支援者に提出してください。
- ② 支援者からアドバイスを受け、その内容を「課題研修まとめ用紙」に記述してください。
- ③ ①のレポートは「課題研修まとめ用紙」に添付してください。

課題3 スキルトレーニングにおいて、以下の細目を履修し、指導を受けた内容を記述してください。

(1) ロープワーク

本結び、もやい結び、巻き結び、ねじ結び、引きとけ結び、角しばり、筋かいしばり

(2) 地図とコンパス

16方位と方位角の呼び方を覚えプレートコンパス（シルバコンパス）を使用することができる。

(3) 刃物の取り扱い

ナイフの正しい使い方と安全について説明できる。

(4) 野営技能

- 家型テントの設営、撤営と維持管理ができる。
- フライテント（タープテント）の設営・撤営と維持管理ができる。
- 班の炊事に適する2種以上のかまどを使い薪で炊事ができる。

課題3は、スカウトコース参加にあたり、最低限、必要となるスキルです。隊指導者のプログラム推進能力の幅を広げるためにおこないます。

履修の方法については、支援するトレーナーに相談してください。

スキルトレーニングで認定済み、あるいは履修済みの項目についても、今一度ご自身で確認してください。

課題3は、次のように実施してください。

- ① 課題3のスキルがどのような場面で使われるのかについて指導を受け、その内容を「課題研修まとめ用紙」に記述してください。

## 【課程別研修「課題研修」課題】

課題 該当隊リーダーハンドブックを熟読し、指導を受けた内容を記述してください。（VS課程はVSスカウトハンドブックアドバンスも熟読する。）

この課題では、プログラム活動を最も効果的に展開できる組織と手順を確認します。

リーダー（隊長）ハンドブックには、「より効果的にスカウトの成長を支援するため」、また、「より効率よく同じ効果を挙げるため」の標準が記載されているので、よく読んでください。

しかし、隊を取りまく環境はそれぞれ異なっているため、隊の運営にあたっては様々な方法や手順が存在します。そこで、あなたの団の該当スカウト隊が実際におこなっている隊運営の方法や手順と、リーダー（隊長）ハンドブックに記載されている標準との違いを確認してください。

この課題は、次のように実施してください。

- ① 「課題研修まとめ用紙」またはレポート用紙等に、標準と自隊の違いを書き、支援者に提出してください。
- ② 支援者からアドバイスを受け、その感想を「課題研修まとめ用紙」に記述してください。
- ③ ①のレポートは「課題研修まとめ用紙」に添付してください。